

1 珊瑚礁内海域における藻場造成の研究 (アジモ・ホンダワラ)

珊瑚礁内海域における漁業生産を高めることを目的として、昭和47年度以来、恩納村屋嘉田地先漁場を主試験地として、一連の調査試験研究を行ってきた。

その結果、シラヒゲウニを増殖対象種とするアジモ場の造成研究が49年度からの主要テーマになってきており、本年度（昭和50年度）はアジモ場の形成と漂砂の動態の関係調査及び移殖試験の結果から、アジモ場造成の一方策を提示することができた。

また、ホンダワラ類もウニ類の有用な食藻であると言われているので、ホンダワラ藻場の造成方法を検討するため、ホンダワラ藻場の生態調査を行った。

それらの詳細については指定試験報告書昭和50年度（昭和51年3月）で報告済みである。